

学びのデザインシート（授業前）

主体的・対話的で深い学びを実現する授業構想【社会科】

1. 対象（実施を想定する学校・子供の実態の概要）

本学級では、学習課題に対して予想を立て、ノートやプリントに自分の考えを書きことができる児童が多い。その後、教科書や資料集を使って調べ学習を行い、その資料や生活経験を根拠に学習課題に対する答えを話し合う活動を何度も経験してきた。そのため、話し合いはスムーズにできるようになってきた。

一方で、話し合う場面では自分の考えを伝えるだけで終わってしまい、学習課題に対して自分たちで練り合うことに課題が残る。また、ペアや班などの少人数での対話では積極的に伝えることができているが、全体対話の場面では発言できる児童が一部に偏ってしまうという課題もある。

また、全体対話で発言した後に「いいです。」「同じです。」という反応が多く、子どもたち同士で疑問を出し合ったり追究したりする場面が少ない。1つの資料から結論を判断するのではなく、良いところ（メリット）と課題（デメリット）を調べた上で複数の資料の情報を根拠に話し合うことで自分の結論を導いていく経験を積んでいる途中である。

2. 単元（題材）名「くらしと産業を変える情報技術」（全7時間）

3. 単元（題材）で育成を目指す資質・能力

知識及び技能	我が国の販売業などの産業と情報の関わりについて、情報の種類、情報の活用の仕方などに着目して、教科書やインターネットの情報を調べ、情報を生かして発展する販売業が国民生活に果たす役割を考え表現することを通して、大量の情報や情報通信技術の活用は、様々な産業を発展させ、国民生活を向上させていることを理解できるようにする。
思考力、判断力、表現力等	我が国の産業と情報の関わりについて、情報化が進む現代社会では大量の情報と情報通信技術の活用により、情報化の進展に伴う産業の発展や国民生活の向上について自分の考えをもち、表現できるようにする。
学びに向かう力、人間性等	我が国の産業と情報の関わりについて、主体的に学習問題を追究・解決し、学習したことをもとに、産業と国民の立場から多角的に思考することを通して、情報化の進展に伴う産業の発展や国民生活の向上について、自分の考えをもととする態度を養う。

4. 本時の目標 6／7時間目

マイナンバーカードのよさや課題を調べ、話し合う活動を通して、マイナンバーカードを作るべきかどうかを複数の資料の情報をもとに、根拠をもってまとめることができる。

〔思考力・判断力・表現力等〕

5. 授業展開【(本時)・単元（題材）】 ※本時または単元（題材）いずれかに○を付けてください。

解決したい課題や問い

「マイナンバーカードは作るべきものだろうか。」

考えるための材料

- ・デジタル庁HP「メリットいっぱい！マイナンバーカード」パンフレットのPDF
- ・デジタル庁HP「マイナンバーカードのメリットと安全性」webサイト
- ・市HP「マイナンバーカードをつくってみませんか」webサイト
- ・保護者・職員を対象に「マイナンバーカードに関するアンケート」自作
実際に利用している人の声、利用していない人の声 メリット・デメリットが分かる。
- ・デジタル庁HP「マイナンバーカードのメリットと安全性 安全性に関するリーフレット」PDF
- ・NHKHP「マイナ保険証のデメリット」
- ・DNP「マイナンバーカードってこれからどうなる？今後の活用に範囲の見通しについても解説」

想定される活動

まずは、資料をもとにマイナンバーカードとはどんなことができるカードなのかを調べる。身分証明書や健康保険証、コンビニで各種証明書が発行できるなど、1枚のカードでいろいろなことができ、便利であることを押さえる。また、分からない言葉や内容は補足をし、知識を増やす（よい点）。

次に、マイナンバーカードの普及率を予想させ、国民にとって便利なカードのはずなのにそこまで普及していない理由（課題）を考える。保護者へのアンケート結果をもとに、マイナンバーカードの課題をつかむ。マイナンバーカードの良い点（メリット）と課題（デメリット）を理解した上で、作るべきかどうかの理由（根拠）を話し合い、学習課題に対する班の答えをつくる。

そして、班の考えがまとまりそうな時に、意見に対する切り返しの資料を示し、再度検討し、班の最終的な結論を全体に発表する。メリット・デメリットやそれに対するそれぞれの班の考えにふれた後に、最終的な結論を、理由を付けてまとめて書かせる。

対話と思考（対話を通じた協働的な問題解決のプロセス）

- ①資料をもとに自分の考えをつくる（3分）→班での話し合い①（7分）→切り返しの資料説明（2分）→再度班での話し合い、最終的な班の考えを決める（7分）→全体発表（10分）で行った。
- ・私は、マイナンバーカードを①絶対に作る。理由は、身分証明書や健康保険証などが1枚のカードになり（国民にとって）便利だからである。
 - ・私は、マイナンバーカードを③どちらかというとならない方がいいと思う。もしマイナンバーカードを落としてしまったら個人情報ばれてしまうから。手続きも大変そうだから。
 - ・マイナンバーカードを作った方がポイントをもらえていいと思ったけど、マイナンバーカードを保険証として使える医療機関はまだ少ないから、今すぐ作らなくてもいいのではないかなと思う。
 - ・私は、マイナンバーカードを②どちらかというとなります。理由は、落としたら個人情報がもれてしまって心配だったけど、ICチップを取り出そうとすると自動的に壊れて悪用できない仕組みがあり安全性が高いからです。でも、更新しなくてはならず、手続きが大変なのは嫌です。

学習の成果（予想される子供のあらわれ）

- ・私は、マイナンバーカードを絶対に作ります。理由は、まだ健康保険証として利用できる病院や個人院は約20%と低いけど、これから利用できる場所が増えていくことで私たちは便利になるからです。また、スマートフォンに搭載される仕組みを開発したり運転免許証との一体化が考えられたりしているので、持っておいた方がいいし、セキュリティ対策もきちんと考えられているからです。
- ・私は、マイナンバーカードをどちらかといえば作ります。理由は、確かに落としてしまったら個人情報が相手に知られてしまうけど、24時間電話で相談して止めることができるし、もしICチップの情報を抜き取ろうとしても自動で壊れる仕組みになっているから安全だと考えたからです。また、いろいろな証明が1枚のカードでできるのは便利だからです。
- ・私は、マイナンバーカードをどちらかというとなりません。理由は、身分証明書や健康保険証などが1枚のカードで証明できることはいいことだけど、手続きが大変で時間がかかり、個人情報がもれてしまうことが心配だからです。